

2022年度
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第38回 総会
議案書

開催場所：株式会社復建技術コンサルタント 会議室

開催日時：2022年5月13日（金） 15時30分～17時00分

議事次第

1. 開 会
2. 支部長挨拶
3. 議 事
 - 第一号議案 2021年度事業報告
 - 第二号議案 2021年度収支決算報告及び監査報告
 - 第三号議案 2022年度事業計画（案）
 - 第四号議案 2022年度収支予算（案）
 - 第五号議案 役員改選の件
 - 第六号議案 東北支部運営規則改定（別添、運営規則）
 - その他
 - 報告事項ほか
4. 閉 会

○ 第一号議案 2021 年度事業報告

(1) 支部総会・シンポジウム

<支部総会> コロナウイルス感染予防のためオンライン開催

*定足数 84 名(会員数 167 名の 1/2 以上)を満たし総会は成立

- ① 日 時 2021 年 5 月 14 日 15:30~17:30
- ② 場 所 株式会社復建技術コンサルタント 会議室 (リモート参加 4 名・委任状 89 名)
- ③ 議 事 第一号議案 2021 年度事業報告
第二号議案 2021 年度収支決算報告及び監査報告
第三号議案 2022 年度事業計画 (案)
第四号議案 2022 年度収支予算 (案)
その他・報告事項

<シンポジウム・意見交換会> コロナウイルス感染予防のため中止

(2) 会議等

① 役員会

- ・ 第 1 回役員会 (2021 年 5 月 14 日 東北支部事務局会議室・リモート 9 名)
2021 年度事業実施計画・予算執行に関する協議
- ・ 第 2 回役員会 (2021 年 8 月 21 日 東北支部事務局会議室・リモート 8 名)
青森県風間浦村の豪雨災害への合同調査団の派遣について
砂防学会東北支部との連携に関する協議ほか
- ・ 第 3 回役員会 (2022 年 2 月 10 日 東北支部事務局会議室・リモート 9 名)
2021 年度事業報告・収支決算見込み、2022 年度事業計画・予算(案)
役員改選人事ほかに関する協議

② 幹事会

- ・ 第 1 回幹事会 (2021 年 6 月 22 日 東北支部事務局会議室・リモート 14 名)
地すべり現地検討会の開催計画、シンポジウム・研修会、若手会員対策に関する協議
- ・ 第 2 回幹事会 (2021 年 7 月 13 日 崩ヶ沢地すべり現地 11 名)
地すべり現地検討会開催地の現地確認及び開催方法に関する協議
- ・ 第 3 回幹事会 (2021 年 9 月 21 日 東北支部事務局会議室・リモート 8 名)
地すべり現地検討会 Web リハーサル
- ・ 第 4 回幹事会 (2022 年 3 月 17 日 東北支部事務局会議室・リモート 14 名)
2021 年度事業報告・収支決算報告、2022 年度事業計画及び予算(案)ほかの協議

③ 運営委員会 (2022 年 3 月 24 日 書面決議による議案書の承認)

- 2021 年度事業報告及び決算 (案) 及び 2022 年度事業計画及び予算 (案) の審議
- 2022・2023 年度東北支部役員人事(案)の承認ほか

(3) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」の開催 (事業企画委員会)

○趣 旨 支部若手会員の技術的交流の場として分科会活動を継続、拡大し、学会等での発表
や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図り、支部の会勢拡大に繋げる。

○分科会 活動の一環として、地すべり学会誌に論文を投稿

*コロナウイルス感染に伴う影響のためオンライン及び少数対面形式で開催。

(4) 東北支部地すべり現地検討会（巡検計画委員会）

＊秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」

＊開催日時 2021年10月6日 13:00～17:00 （オンライン開催 参加45名）

＊事前に作成し配信した動画を視聴したうえで参加し、ブレイクアウトルームを利用したグループ討議を班単位で行い、討議結果を総合討論で発表した。

＊初めての試みであったが参加者からは好評を得て、今後の検討会のあり方の一つと判断された。

(5) 災害調査派遣（巡検計画委員会）

2021年8月9日～10日にかけての青森県風間浦村で発生した豪雨災害に対して、(公社)砂防学会東北支部と合同で現地調査を行った。

- ・第1次調査（2021年9月18日～19日） 参加7名
コロナ感染予防を考慮し、青森県在住の山本祐介氏、岩田英也氏が参加した。
- ・第2次調査（2021年11月6日～7日） 参加25名
東北支部からは山本祐介氏、工藤唯志氏、小林基比古氏が参加した。
- ・調査結果については砂防学会と連携し随時支部ホームページで報告した。

(6) 広報活動等（広報委員会）

① 支部だより第32号の発行（2021年12月20日） 印刷部数260部、発送部数254部

- ・支部ホームページの更新、情報発信
- ・各種事業案内・参加募集、委員会活動報告、支部行事等の掲載など

② 講師派遣

- ・宮城県砂防ボランティア協会主催研修会（2021年5月19日）
（株）復建技術コンサルタント 押見和義氏
- ・秋田県地質調査業協会(秋田県と共催)主催
「調査・設計(土質・地質)研修会」(2021年7月15～16日)
奥山ボーリング(株)藤井 登氏、大村 泰氏

(7) 関連団体との連携・地域貢献

① 「2021年青森県風間浦村の豪雨災害に関する合同調査団」へ砂防学会東北支部と参画

- ・2回にわたる現地調査を実施し延べ5名が参加した。

② (一社) 斜面防災対策技術協会

- ・地すべり防止工事士更新講習会講師 大河原正文支部長
- ・機関紙「山が動く」への投稿 濱崎英作氏、林 一成氏

③ (公社) 土木学会東北支部土木の日特別行事

「防災に関するシンポジウム」(2022年1月26日)

- ・基調講演 「東北地方における近年の土砂災害」 大河原正文支部長
- ・パネルディスカッションパネリスト 高見智之副支部長
- 話題提供 「空からの地盤・土砂災害調査」

(公社)日本地すべり学会

東北支部だより

vol.
32

東北支部事務局

〒980-0012
仙台市青葉区錦町1丁目7番25号
株式会社復建技術コンサルタント内
担当:大澤、羽生 ☎022-262-1234

ご挨拶

東北支部長
大河原 正文
(岩手大学 理工学部
システム創成工学科 准教授)

支部会員の皆様、オブザーバーならびに関係者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

地すべり学会東北支部は発足から今年で36年目を迎え、これまで同様、地すべりをはじめとする斜面関連の学術及び技術の振興ならびに地域社会の健全な発展に貢献すべく活動しております。

今年の大きな出来事として、東京オリンピック・パラリンピックが無事に開催されたことが挙げられます。柔道、卓球、ソフトボールなど日本人選手の活躍に元気をもらった皆様も少なくないと思います。また、大リーグエンゼルスの大谷翔平選手がア・リーグMVPを受賞したことは、東北の皆様にとってたいへん明るいニュースとなりました。一方で新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、オミクロン株の拡大など残念ながらもまだ終息といえる状況にはありません。

このような大きな環境変化のなか、東北支部も新型コロナウイルスに対応すべく新しい方法を模索しております。5月14日に開催された第37回支部総会は、昨年に引き続きオンラインでの開催となりました。2回目ということもあり接続等のトラブルもなくスムーズに進み、議案につきましては概ね原案通り承認されたことをご報告いたします。

昨年中止となった地すべり現地検討会は、秋田県の崩ケ沢地すべりを対象にオンラインで開催しました。現地を訪れないで十分な討論ができるか心配しましたが、事前のビデオ説明、詳細な現場資料、当日の丁寧な対応により活発な議論が展開されました。これも現場をご提供いただいた秋田県農林水産部森林整備課様ならびに実務で現場を担当されている奥山ポーリング株式会社の皆様のご尽力によるものであり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

次に、支部の人材育成の柱であるコロキウム活動についてです。今年は勉強会の開催はありませんでしたが、地すべり学会誌9月号に「地すべりと地下水水質—化学的風化の観点から」と題して、コロキウムの活動成果が掲載されました。コロナ禍においての活動が1月号に引き続き2度目の掲載となったことは重要な成果でした。支部としても引き続き執筆活動を支援していきたいと思っております。

斜面災害を専門に扱う東北支部ですが、8月の台風第9号から変化した温帯低気圧の影響で、青森県むつ市から風間浦村にかけて多数の土石流、斜面崩壊が発生し、道路、橋梁、砂防施設に甚大な被害が生じました。支部では、砂防学会と合同調査団を結成し現地調査にあっております。8月の第1回調査では、弘前大学の鄒青穎先生(砂防学会兼務)を団長として精力的に調査しましたが、コロナ禍のため青森県在住の会員のみでの調査となりました。調査は引続き行われており、第2回から団長に井良沢道也砂防学会東北支部長、副団長に高見智之地すべり学会東北支部長、鄒先生、金俊之氏(青森県)にお引受けいただき調査中です。順次、支部ホームページに調査結果を掲載しますのでご覧いただければと存じます。

また、東北支部結成35周年記念誌「斜面防災危険度評価ガイドブック」が山形大学の八木浩司先生、林一成氏(編集代表)のもと編集委員の皆様のご尽力により8月に朝倉書店から発刊されました。地形発達、判読と評価、地形の階層化と定量化など、斜面災害を地形から予測するためには必須のガイドブックであり、技術書として大いに役立つものと信じております。

現在はウィズコロナの状況にあります。アフターコロナを見据えた支部の在り方を検討しております。アンケート結果によると、講習会、講演会などのオンライン開催は好評を博しており、ウィズコロナで培ったオンライン会議を取り入れながら、引続き、臨機応変に講習会、講演会を開催したいと思っております。

最後になりますが、東北支部は時代の流れに適應すべく、組織、運営形態、行事の開催方法などを変革しなければならない重要な時期にあると認識しております。支部会員ならびに関係者の皆様におかれましては、東北支部の活動にご支援賜りますようお願い申し上げます。

支部だより 第32号 : 大河原支部長挨拶>

○ 第二号議案 2021年度収支決算

(その1)

【収益】				2021年度 予算 b	2021年度 決算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				530,050	467,013	-63,037	
事業収益				210,000	137,000	-73,000	
		シポジウム収益		0	0	0	開催見送り
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
			会場予約払い戻し	0	0	0	
		現地検討会収益		160,000	132,000	-28,000	現地開催、討論会はWebによる開催
			参加費	160,000	132,000	-28,000	3,000×44名
			意見交換会費	0	0	0	
		技術講習会収益		50,000	0	-50,000	実施見送り
			参加費	50,000	0	-50,000	
			意見交換会費	0	0	0	
		出版収益		0	5,000	5,000	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	5,000	5,000	
		協賛・寄付		320,000	330,000	10,000	
			協賛金	320,000	330,000	10,000	33社×1万(2019年度以前2万)
			寄付金	0	0	0	
		雑収益		0	0	0	
		受取利息		50	13	-37	
本部仮払金(下記に内訳を記載)				0	0	0	
						0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				530,050	467,013	-63,037	
【費用】				2021年度 予算 b	2021年度 決算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				1,040,000	974,936	-65,064	
事業費				652,000	770,252	118,252	
		シポジウム会費		71,000	0	-71,000	開催見送り
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	0	0	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	50,000	0	-50,000	
			旅費交通費	10,000	0	-10,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	5,000	0	-5,000	
			支払手数料	1,000	0	-1,000	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	0	-5,000	
			雑費	0	0	0	
		現地検討会費		220,000	156,990	-63,010	現地開催、討論会はWebによる開催
			印刷製本費	0	0	0	ダウンロード方式
			会場費(会場使用料)	30,000	0	-30,000	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	100,000	0	-100,000	
			借料(バス・レンタカー代)	50,000	0	-50,000	
			通信運搬費	5,000	0	-5,000	
			支払保険料	8,000	0	-8,000	
			支払手数料	2,000	990	-1,010	
			消耗品	20,000	0	-20,000	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	7,500	2,500	
			外注費	0	148,500	148,500	動画作成費
			雑費	0	0	0	

(その2)

技術講習会費	60,000	0	-60,000	実施見送り
印刷製本費	5,000	0	-5,000	
会場費(会場使用料)	10,000	0	-10,000	
会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
諸謝金	30,000	0	-30,000	
旅費交通費	0	0	0	
借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
支払手数料	0	0	0	
消耗品	0	0	0	
諸会費(CPD認定手数料など)	15,000	0	-15,000	
外注費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
※その他の事業活動(上記の3つ以外)	301,000	613,262	312,262	2020年度実績 193,438
印刷製本費	200,000	571,600	371,600	支部だより印刷費、35周年事業の出版費
会場費(会場使用料)	20,000	0	-20,000	社会貢献・緊急調査等の会場費
会議費(意見交換会含む)	30,000	0	-30,000	
広告宣伝費	0	0	0	
パート・アルバイト代	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	15,450	-4,550	
借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
通信運搬費	20,000	22,062	2,062	2020年度実績 20,496
情報システム費(HP関係など)	0	0	0	
支払手数料	1,000	1,760	760	
消耗品	0	2,390	2,390	書籍発送用封筒
備品	0	0	0	
外注費	0	0	0	
支払保険料	0	0	0	
諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
賞金・賞品(副賞や感謝状など)	10,000	0	-10,000	
雑費	0	0	0	
管理費	388,000	204,684	-183,316	2020年度実績 208,948
給与・手当	0	0	0	
パート給与	0	0	0	
アルバイト給与	0	0	0	
会場費	0	0	0	
会議費	50,000	0	-50,000	
支部総会費	0	0	0	Web開催
幹事会・運営委員会	50,000	0	-50,000	Web開催
印刷製本費	10,000	0	-10,000	
旅費交通費	50,000	0	-50,000	
借料	0	0	0	
通信運搬費	5,000	3,914	-1,086	
消耗品(事務用品費)	40,000	0	-40,000	
備品	30,000	0	-30,000	
外注費	200,000	200,000	0	事務委託費
支払手数料	2,000	110	-1,890	
雑費	1,000	660	-340	残高証明費用
当期費用合計(B)	1,040,000	974,936	-65,064	
当期収支差額(C=A-B)	-509,950	-507,923	2,027	
前期未収入金	31,581	31,581	0	2020年度若手育成事業助成金
前期未払い金	0	0	0	
当期前払金	0	0	0	
前期繰越額(D)	1,710,698	1,706,628	-4,070	
次期繰越額(D+C)	1,232,329	1,230,286	-2,043	


* 2022 年度繰越金 1,706,628 円 - 507,923 + 31,581 円 = 1,230,286 円

監査報告書（東北支部）

2022年4月1日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 平松 晋也 殿

監事 荒谷 保 

監事 橋本 修一 

2021年4月1日から2022年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

○ 第三号議案 2022年度事業計画

(1) 支部総会

<支部総会>

*コロナウイルス感染防止のため書面決議とし、役員の出席と委任状により開催する。

- ① 日 時 2022年5月13日 15:30～17:00
- ② 場 所 (株)復建技術コンサルタント会議室・リモート開催
- ③ 議 事 第一号議案 2021年度事業報告
第二号議案 2021年度収支決算及び監査報告
第三号議案 2022年度事業計画(案)
第四号議案 2022年度収支予算(案)
第五号議案 2022・2023年度役員改選の件
その他・報告事項

(2) 東北支部活動

- ① 役員会
 - ・2022年6月、2022年10月、2023年2月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
 - ・支部事業の運営及び実施状況等に関する協議等
- ② 幹事会
 - ・2022年6月、10月、2022年2月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
 - ・各種支部事業の計画立案、運営等に関する協議等
- ③ 運営委員会
 - ・2023年3月に予定
 - ・2022年度事業報告・収支決算及び2023年度事業計画・予算(案)の審議
- ④ 各委員会 : 事業企画、巡検計画、広報、研修
 - ・事業実行に応じて随時開催

(3) 若手育成事業「斜面変動研究のワーキング」の継続 (事業企画委員会)

- ① 趣 旨
支部若手会員の技術的交流の場として、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、広く支部会員の参加を呼びかけ会勢拡大に繋げていく。
- ② 分科会 : 攻撃斜面、キャップロック地すべり、地下水検層、応用地形判読
 - ・分科会毎に研究、発表などにより議論を深めるとともに、本部事業への積極的な参加や学会誌への寄稿を促す
 - ・中堅及び若手会員からの問題提起や事例発表などを題材にした勉強会としても開催する。
- ③ 実施要領
 - ・コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、少人数での対面開催やオンライン開催とする。
 - ・CPD取得の支援を兼ねて、参加については随時会員、協賛企業に広く公募する。

(4) 講演会・研修会の開催（事業企画委員会・研修委員会）

- ・ 砂防学会東北支部と連携を取りながら相互に話題提供を行う。
- ・ ワーキング分科会の研究発表の場を提供する。
- ・ 参加者は随時会員に広く公募する。

<講演会> *コロナウイルス感染防止のためオンライン開催とする。

- ① テーマ 東北地方の土砂災害などのタイムリーな話題提供
- ② 場所 東北支部事務局・オンライン
- ③ 日時 2022年6月中旬～下旬（予定）

<研修会>

- ① テーマ 「斜面防災危険度評価ガイドブック」の実践的活用について
- ② 場所 東北支部会議室・オンライン
- ③ 日時 調整中 *複数回を検討

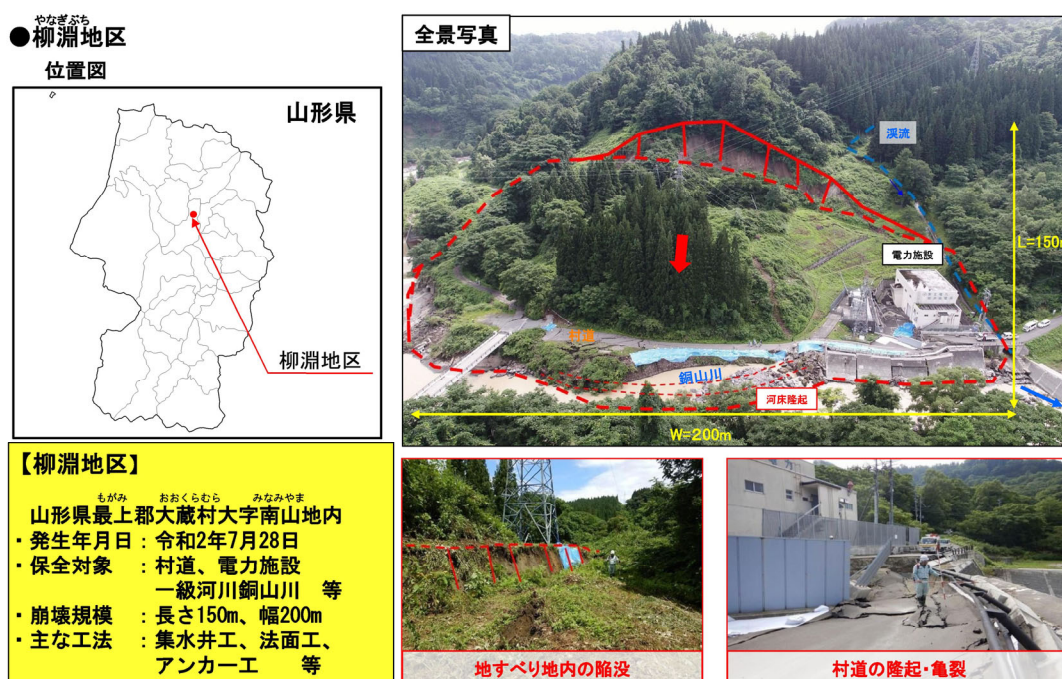
(5) 継続的な現地調査・研究の検討（事業企画委員会・巡検計画委員会・研修委員会）

- ・ 地すべり地における継続的な現地調査や研究を行うための研究フィールドを検討し、若手を含む会員の地すべり調査技術の向上や研究テーマの提供の可能性を企画、検討する。

(6) 地すべり現地検討会の開催（巡検計画委員会）

- ① 場所 山形県最上郡大蔵村「柳淵地すべり」
- ② 時期 2022年10月上旬～中旬
- ③ テーマ（案） 「豪雨で再活動した地すべりの発生機構と対策」
- ④ 募集人員 定員45～50人程度

*令和3年度オンライン検討会に準じた方法での開催を予定



<検討会計画位置図>（国土交通省砂防部令和2年9月1日を引用）

(7) 災害調査派遣（巡検計画委員会）

- ① 調査に値する災害情報が提供された場合は、本部「土砂災害緊急調査内規」に準じて調査派遣を検討、実施する。→アドバイザーとの連携・情報収集、他学会・協会等と連携
- ② 調査目的と成果の明確化を図り、本部とも連携して実施する。
- ③ 調査後は報告書にまとめ提出するほか、ホームページなどで会員に広く広報する。

(8) 社会貢献・会勢活動・他学協会との連携（各委員会）

- ① 斜面防災のリスクの再認識を促し、コミュニティの自助・共助の重要性などについての啓蒙・普及・研修に関する活動を計画する。
- ② 各委員会と連携し各種団体への出前講座や出張授業等（アウトリーチ活動）を積極的に推進し宣伝活動を行い、会員数の増加を目指す。
 - ・シンポジウム、講演会や研修会などで他学会や協会と連携を図る。
 - ・オンライン開催など気軽に参加できる開催方法を検討する。
- ③ 協賛団体、関連団体・学会との情報共有を推進する。
 - ・斜面防災対策技術協会東北支部 東北地質調査業協会 砂防学会東北支部
土木学会東北支部 応用地質学会東北支部 地盤工学会東北支部など
 - ・関連協会への現地検討会参加による相互の意見交換と技術交流を図る。
- ④ 災害調査における連携
 - ・関連学協会との合同調査に対して積極的な対応を推進する。

(9) 広報活動（広報委員会・研修委員会）

- ① 支部だより第33号の発行（2022年12月の予定）
 - ・支部会員、協賛団体及び企業への学会活動の情報提供
 - ・支部行事、委員会活動の報告、支部ホームページにも掲載
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
 - ・支部会員リストを利用した各種事業報告ならびに事業開催案内・参加募集等
- ③ 会勢拡大活動
 - ・アウトリーチ連絡会との連携を図り、講師派遣や市民向け勉強会などを通じた支部事業の宣伝活動 → 学校や自治体の防災教育、技術研修会への講師派遣
 - ・会員数対策連絡会と連携して支部会員獲得に向けた活動
 - ・「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催立案

○ 第四号議案 2022年度収支予算

(その1)

*オンラインでの事業展開を見据えた縮小予算とした

【収益】				2021年度 予算 b	2022年度 予算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				530,050	740,050	210,000	
事業収益				210,000	410,000	200,000	
		シンポジウム収益		0	0	0	web開催
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
			会場予約払い戻し	0	0	0	
		現地検討会収益		160,000	160,000	0	Web開催
			参加費	160,000	160,000	0	
			意見交換会費	0	0	0	見送り
		技術講習会収益		50,000	250,000	200,000	Web開催
			参加費	50,000	250,000	200,000	
			意見交換会費	0	0	0	見送り
		出版収益		0	0	0	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	0	0	
協賛・寄付				320,000	330,000	10,000	
		協賛金		320,000	330,000	10,000	33社×1万(2019年度以前2万)
		寄付金		0	0	0	
雑収益				0	0	0	
受取利息				50	50	0	
本部助成金(若手対策費2020年分)				0	0	0	
本部仮払金(下記に内訳を記載)				0	0	0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				530,050	740,050	210,000	
【費用】				2021年度 予算 b	2022年度 予算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				1,440,000	802,000	-638,000	
事業費				1,052,000	579,000	-473,000	
		シンポジウム会費		71,000	46,000	-25,000	Web開催
			印刷製本費	0	5,000	5,000	
			会場費(会場使用料)	0	0	0	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	50,000	30,000	-20,000	
			旅費交通費	10,000	0	-10,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	5,000	5,000	0	
			支払手数料	1,000	1,000	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	5,000	0	
			雑費	0	0	0	
		現地検討会費		220,000	212,000	-8,000	Web開催
			印刷製本費	0	0	0	ダウンロード方式
			会場費(会場使用料)	30,000	0	-30,000	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	100,000	50,000	-50,000	
			借料(バス・レンタカー代)	50,000	0	-50,000	
			通信運搬費	5,000	5,000	0	
			支払保険料	8,000	0	-8,000	
			支払手数料	2,000	2,000	0	
			消耗品	20,000	0	-20,000	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	5,000	0	
			外注費	0	150,000	150,000	動画作成費
			雑費	0	0	0	

(その2)

技術講習会費		60,000	50,000	-10,000	Web開催
印刷製本費		5,000	5,000	0	
会場費(会場使用料)		10,000	0	-10,000	
会議費(意見交換会含む)		0	0	0	
諸謝金		30,000	30,000	0	
旅費交通費		0	0	0	
借料(バス・レンタカー代)		0	0	0	
通信運搬費		0	0	0	
支払手数料		0	0	0	
消耗品		0	0	0	
諸会費(CPD認定手数料など)		15,000	15,000	0	
外注費		0	0	0	
雑費		0	0	0	
※その他の事業活動(上記の3つ以外)		701,000	271,000	-430,000	
印刷製本費		200,000	200,000	0	支部だより印刷費
会場費(会場使用料)		20,000	20,000	0	社会貢献・緊急調査等の会場費
会議費(意見交換会含む)		30,000	0	-30,000	
広告宣伝費		0	0	0	
パート・アルバイト代		0	0	0	
諸謝金		0	0	0	
旅費交通費(社会貢献・緊急調査)		20,000	20,000	0	
借料(バス・レンタカー代)		0	0	0	
通信運搬費		20,000	10,000	-10,000	
情報システム費(HP関係など)		0	0	0	
支払手数料		1,000	1,000	0	
消耗品		0	0	0	
備品		0	0	0	
外注費		0	0	0	
支払保険料		0	0	0	
諸会費(CPD認定手数料など)		0	0	0	
賞金・賞品(副賞や感謝状など)		10,000	20,000	10,000	
雑費		0	0	0	
その他		400,000	0	-400,000	2021年度:35周年事業の出版費
管理費		388,000	223,000	-165,000	2020年度実績 208,948
給与・手当		0	0	0	
パート給与		0	0	0	
アルバイト給与		0	0	0	
会場費		0	0	0	
会議費		50,000	0	-50,000	
支部総会費		0	0	0	Web開催
幹事会・運営委員会		50,000	0	-50,000	Web開催
印刷製本費		10,000	5,000	-5,000	
旅費交通費		50,000	0	-50,000	
借料		0	0	0	
通信運搬費		5,000	5,000	0	
消耗品(事務用品費)		40,000	10,000	-30,000	
備品		30,000	0	-30,000	
外注費		200,000	200,000	0	事務委託費
支払手数料		2,000	2,000	0	
雑費		1,000	1,000	0	残高証明費用
当期費用合計(B)		1,440,000	802,000	-638,000	
当期収支差額(C=A-B)		-909,950	-61,950	848,000	
前期未収入金		31,581	0	-31,581	
前期未払い金		0	0	0	
当期前払金		0	0	0	
前期繰越額(D)		1,710,698	1,230,286	-480,412	
次期繰越額(D+C)		832,329	1,168,336	336,007	

○ 第五号議案 2022・2023年度役員改選の件

(1) 役員改選

2022年2月10日開催の支部役員会にて下記の推薦を得て、2022年3月23日開催の運営委員会(書面)において承認を得た。

- ・支部長：大河原 正文 氏 (岩手大学工学部 准教授) 再任
- ・副支部長：高見 智之 氏 (国際航業(株)東北支社 技術部長) 再任
- ・監事：橋本 修一 氏 ((株)東北開発コンサルタント 専門役) 再任
- ・監事：渋谷 保 氏 (日特建設(株)東北支店 技術部長) 再任

<参考：支部運営規定抜粋>

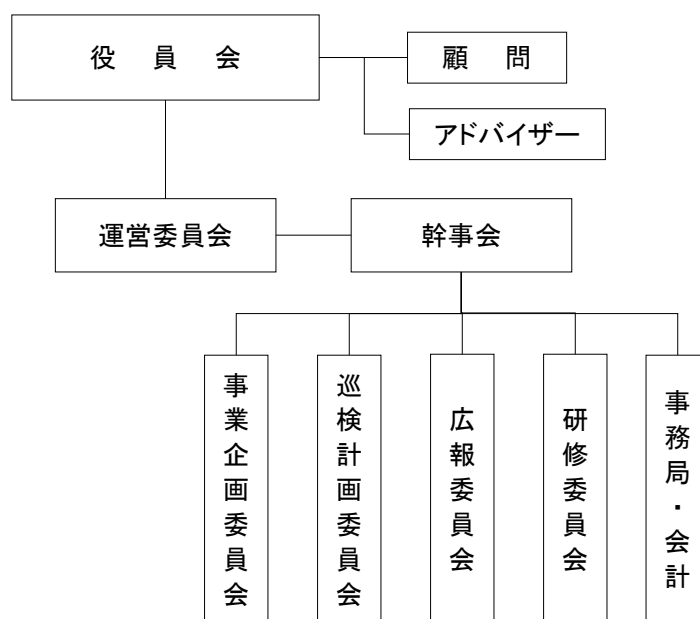
第3条 支部に役員、顧問、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く。

顧問	若干名
支部長	1名(役員)
副支部長	若干名(〃)
監事	2名(〃)
運営委員	若干名
幹事長	1名
副幹事長	若干名
幹事	若干名

第4条 役職の任期は2年とする。再任は妨げない。前年度の運営委員会が支部会員のうちから推薦し、総会において承認を得る。

2 顧問、運営委員、幹事長、副幹事長及び幹事は支部長が委嘱する。

(2) 支部組織



<東北支部組織図>

○役員・運営委員・顧問・アドバイザー

支 部 長	大 河 原 正 文	岩手大学理工学部准教授
副 支 部 長	高 見 智 之	国際航業（株）東北支社技術部長
監 事	渋 谷 保 橋 本 修 一	日特建設（株）東北支店技術部長 （株）東北開発コンサルタント専門役
運 営 委 員	1 梅 村 順 2 大 月 義 徳 3 鄒 青 穎 4 森 口 周 二 5 山 川 優 樹 6 荻 野 俊 寛 7 本 山 功 8 三 辻 和 弥 9 近 藤 敏 光 10 荻 田 茂 11 武 田 茂 典 12 大 賀 政 秀 13 三 嶋 昭 二 14 押 見 和 義 15 渡 辺 修 16 西 尾 克 人 17 工 藤 唯 志 18 大 村 泰	日本大学工学部土木工学科専任講師 東北大学大学院理学研究科助教 弘前大学農学生命科学部地域環境工学科助教 東北大学災害科学国際研究所准教授 東北大学大学院工学研究科教授 秋田大学大学院理工学研究科准教授 山形大学理学部地球科学分野教授 山形大学工学部建築・デザイン学科教授 国際航業（株）東北統括部国土保全G担当部長 奥山ボーリング（株）技術部長 基礎地盤コンサルタント（株）東北支社副支社長 （株）ダイヤコンサルタント東北支社支社長 応用地質（株）東北事務所防災技術部技術参与 （株）復建技術コンサルタント技師長 （同）水文企画代表 国土防災技術（株）東北支社管理部次長 日本工営（株）仙台支店国土保全部長 奥山ボーリング（株）技術部課長
顧 問	1 盛 合 禧 夫 2 千 葉 則 行 3 檜 垣 大 助 4 宮 城 豊 彦 5 八 木 浩 司 6 井 良 沢 道 也	東北工業大学名誉教授 東北工業大学名誉教授 弘前大学名誉教授 東北学院大学名誉教授 山形大学名誉教授 岩手大学名誉教授
ア ド バ イ ザ ー	1 国土交通省東北地方整備局河川計画課課長 2 国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所所長 3 農林水産省東北農政局農村振興部農村環境課地質官 4 林野庁東北森林管理局計画保全部治山課課長 5 東日本高速道路（株）東北支社技術企画課課長 6 東日本旅客鉄道（株）仙台支社工事課課長 7 東北電力（株）再生可能エネルギーカンパニー 水力部水力士木課長 8 熊 谷 茂 一 9 阿 部 真 郎 10 三 上 登 志 男 11 濱 崎 英 作 12 山 科 真 一 13 金 子 和 亮 14 森 一 司 15 八 鍼 健	（一社）斜面防災対策技術協会 東北支部長 奥山ボーリング（株）顧問 （株）復建技術コンサルタント技師長 （株）アドバンテクノロジー社長 国土防災技術（株）常任顧問 日本工営（株）仙台支店次長 （株）システムプランニング技術顧問 （株）日さく仙台支店長

○幹 事

区分	委員会	氏名	所属
幹事長		瀬野孝浩	(株)新東京ジオ・システム
副幹事長	事業企画	渡辺 修	(同)水文企画
	巡検計画	西尾克人	国土防災技術(株)
	広報	大村 泰	奥山ボーリング(株)
	研修	工藤唯志	日本工営(株)
幹事	事業企画	増田由紀子	日特建設(株)
		今井雄輝	応用地質(株)
		高橋康平	国土防災技術(株)
	巡検計画	伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント
		石川恵司	(株)日さく
		細谷健介	新和設計(株)
		山本佑介	(株)復建技術コンサルタント
	広報	石川晴和	(株)アドバンテクノロジー
		黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ
		池田浩二	(株)東北開発コンサルタント
	研修	中臺直之	(株)新東京ジオ・システム
		小林基比古	日本工営(株)
		西 俊憲	基礎地盤コンサルタンツ(株)
		大澤宏明	(株)復建技術コンサルタント
会計・事務局			

名 称	実行内容
事業企画	支部総会・シンポジウム、他学会・協会との交流活動についての企画・運営、斜面変動コロキウムの実行
巡検計画	地すべり現地検討会の企画・開催、災害時の調査団派遣検討及び調査報告書の作成
広 報	支部活動に関わる情報提供や広報活動、支部HP運営・管理、支部だよりの作成・配布、社会貢献・会勢拡大活動(アウトリーチ・会員数対策連絡会と連携)
研 修	会員または一般向け技術研修会の企画・運営

○ その他

(1) 協賛金について

今年度の協賛金はコロナ禍で事業実施が不透明なところもありますので、暫定として昨年同様に 1万円とさせていただきます。振り込みのご案内は、総会後に事務局よりご連絡しますので、よろしくお願いいたします。

支部運営は協賛各団体からの協賛金によって運営されております。総会後より3ヶ月以内でのお振り込みをお願いします。また、協賛を頂いた団体・企業については「支部だより」に掲載させていただきます（巻末参照）。

また、協賛団体に所属している職員の皆様は、支部会員（正会員）でなくとも各種支部開催事業（シンポジウム、現地検討会など）に参加することができます。

(2) 2021 年度日本地すべり学会賞受賞

- ・論文賞 : 濱崎英作氏 ((株) アドバンテクノロジー)
- ・査読者賞 : 阿部真郎氏 (奥山ボーリング (株))

(3) 支部創設 35 周年記念誌「斜面防災危険度評価ガイドブック」発刊 (朝倉書店)

(4) 2021 年度日本地すべり学会東北支部賞

- ・賞状 : 八木浩司 氏 (山形大学名誉教授)

○ 報告事項ほか

■本部開催事業

(1) 2022 年度 (公社) 日本地すべり学会社員総会・シンポジウム

- ① 場 所 学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」
- ② 日 程 2022 年 6 月 10 日 (金) (ハイブリッド (対面、およびオンライン))

(2) (公社) 日本地すべり学会第 61 回 (2022 年度) 研究発表会及び現地見学会

- ① 場 所 福岡県福岡市
- ② 日 程 2022 年 8 月 23 日 (火) ~26 日 (金)

(3) 土砂災害報告会及び本部開催講習会等

*詳細は未定、随時ホームページで案内

■連絡会の設置

2020 年度第三回理事会において学会のアウトリーチ活動の在り方が審議され、本部と連携して進める目的で、各支部にアウトリーチ連絡会担当を置くことになり、学会全体としての進め方を検討していくことになりました。また、会員数対策も連絡会を設置し並行して進めることになり、それぞれ以下の担当を決め今後連携していくことになりました。

- アウトリーチ連絡会担当 黒墨 秀行 ((株) 総合土木コンサルタンツ)
- 会員数対策担当 瀬野 孝浩 ((株) 新東京ジオ・システム)

2021年度東北支部協賛団体（33社）

一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社
株式会社アドバンテクノロジー
応用地質株式会社 東北事務所
奥山ボーリング株式会社
川崎地質株式会社 北日本支社
基礎地盤コンサルタント株式会社 東北支社
株式会社計測技研
国際航業株式会社 東北支社
国土防災技術株式会社 東北支社
株式会社新東京ジオ・システム
新和設計株式会社
合同会社水文企画
株式会社総合土木コンサルタント
株式会社測商技研 秋田支店
株式会社ダイヤコンサルタント 東北支社
株式会社地質基礎
中央開発株式会社 東北支店
株式会社テクノ長谷
東光計測株式会社
東邦技術株式会社
東北ボーリング株式会社
土木地質株式会社
日栄地質測量設計株式会社
株式会社日さく 仙台支店
日鉄鉦コンサルタント株式会社 東北支店
日特建設株式会社 東北支店
日本基礎技術株式会社 東北支店
日本工営株式会社 仙台支店
株式会社平野組
株式会社復建技術コンサルタント
株式会社北杜地質センター
ライト工業株式会社 東北統括支店